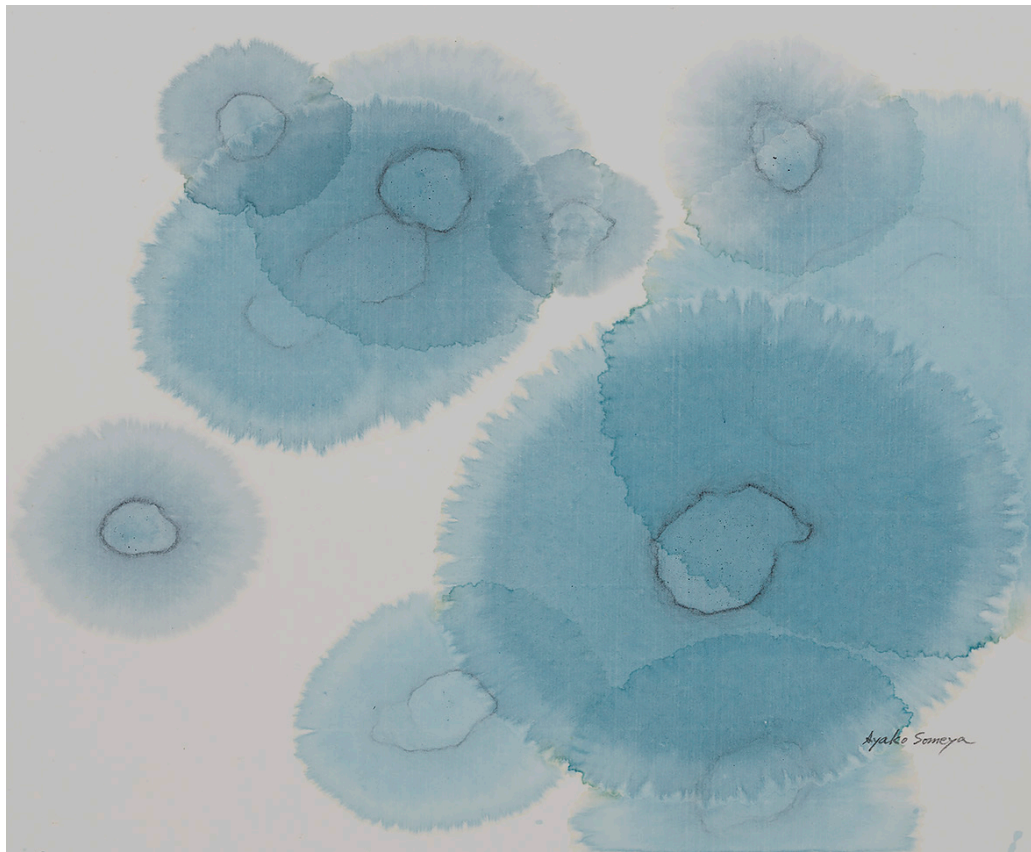




Ayako Someya



Akio Niisato

銀河の怜瓏

Ayako Someya + 新里明士2人展

2025
7.26_{Sat}
→ 8.11_{Mon}

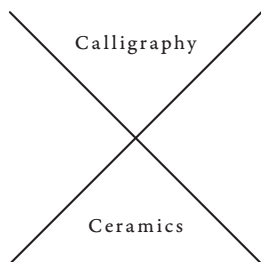
12:00-19:00 Closed: Monday
Entrance Free *Except for 8.11

主催：株式会社アトム 企画：宮津大輔
コキュレーション：丹原健翔・宮津大輔

協力：東京画廊+BTAP、Yutaka Kikutake Gallery、ADIATE 株式会社

書

Ayako Someya



陶

Akio Niisato

銀河の玲瓏 テーマ「宇宙」

「書」と「陶」という私たちに馴染みの深い伝統的な技法を用いながら、社会状況や普遍的(であると
思われているよう)な事柄に対して問いを深める作品によって、現在、日本はもとより世界で注目を
集める Ayako Someya(書)と新里明士(陶芸)の2人展を開催します。

大気や鉱物の組成を化学記号(式)で書き表してきた Someya と、波動であり粒子である光を納め
る器を創ってきた新里は、「宇宙」をテーマとした新作を発表します。展覧会タイトルである「Ayako
Someya + 新里明士 2人展: 銀河の玲瓏」は、宮沢賢治(1896 ~ 1933年)による「青森挽歌」の一節
である「きしや(注: 汽車)は銀河系の玲瓏レンズ 大きな水素のりんごのなかをかけてゐる」^{*1}にインス
パイアされたものです。100年以上も前に自らが深く帰依する法華経に多大な影響を受けつつ、アイ
ンシュタイン(Albert Einstein, 1879-1955年)の学説を受容・理解した宇宙観(『銀河鉄道の夜』で
は、「これほど不完全な幻想第四次の銀河鉄道なんか、どこまででも行ける筈でさあ」^{*2}と光速を超
える銀河鉄道を表しています)を持つ賢治の世界を、2人のアーティストが独自の創作スタイルや技
法を駆使して如何に可視化・作品化するのか期待が高まります。

気鋭の哲学者であるユク・ホイ(Yuk Hui, 生年不詳)は、その著書『中国における技術への問い 宇
宙技芸試論』(2016年)の中で、「ギリシア的な技術をあらゆる技術の起源と考えるなら、それ
は完全な方向の喪失/東洋の消失だといえる—そして不幸なことに、これこそいま起こっていること
にほかならない」^{*3}と述べています。Someya と新里の邂逅によるケミストリー(化学反応)が紡ぐ、
多様な宇宙(史)観が照応する展示空間をお見逃しなく。

※1: 「青森挽歌」引用元: 『【新】校本 宮沢賢治全集』第二巻 詩 [1]、筑摩書房、1995年、156ページ

※2: 『【新】校本 宮沢賢治全集』第十一巻 童話 [4]、筑摩書房、1996年、150ページ

ちなみに、アインシュタインは特殊相対性理論(1905年発表)で、光速は普遍的な速度であり、いずれの慣性系から見ても一定であり、質量を有す
る物体が光速まで加速するためには無限のエネルギーを必要とするため、光速を超えることは不可能であると説いています。

※3: ユク・ホイ『中国における技術への問い 宇宙技芸試論』伊勢康平訳、ゲンロン、2022年、14ページ



Ayako Someya

1981年東京都生まれ。大学で英米文化を学
んだ後に英国留学を経て、伝統書の世界で
「書」の基礎を習得する。斯界で敬遠されが
ちであった「滲み」に美を見出し、世界共通
語である化学記号を揮毫することにより前
衛書の新たな可能性を拓いた。アジア最大
規模のアートフェア「West Bund Art & Design」
(上海、中国、2021年)で注目を集め、コロ
ナ禍における社会問題にも言及した個展「呼
吸するように」(東京画廊+BTAP・東京、
2023年)は大きな話題となった。また最近
は、グループ展「Ginza Curator's Room 006 宮
津大輔『室礼の美』」(思文閣 銀座・東京、
2023年)への参加や、フォーシーズンズホテ
ル大阪への大型作品恒久設置などを通じて
活動の幅を広げている。



新里明士

1977年千葉県に生まれ、2001年多治見市
陶磁器意匠研究所を修了。イタリアのファ
エンツァ国際陶芸展新人賞受賞(2005年)で
頭角を表す。素地を透かし彫りにし、透明釉
を充填して焼成する「蛭手」技法を応用した
作品《光器》シリーズで、用と非用や有と無
の根源的な境界へと迫り高い評価を受ける。
近年は、個展「曲/面」(Yutaka Kikutake
Gallery・東京、2023年)などで、繊細な技法
の焼成課程における破れや割れを積極的に
捉えた作品群で常識的な審美観に一石を投
じる。また、「和巧絶佳展—令和時代の超工
芸」(パナソニック 汐留美術館・東京、2020
年)をはじめとする革新的工芸に焦点を当て
た展覧会においても、圧倒的な存在感を示
している。

Ayako Someya + 新里明士 2人展: 銀河の玲瓏

2025年7月26日(土) - 8月11日(月・祝)

時間: 12:00~19:00 休館日: 最終日の祝日を除く、月曜日は休廊 入場無料

会場: コートヤード HIROO ガロウ(〒106-0031 東京都港区西麻布4-21-2)



オープニングレセプション及びプレビュー

2025年7月25日(金) 18:00-20:00

